

第7号様式（第7条関係）

令和8年3月31日

海老名市議会議長 殿



会 派 名 政進会

代表者名 宇田川 希

令和7年度政務活動費収支報告について

海老名市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項により、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

第8号様式（第7条関係）

令和7年度政務活動費収支報告書

会派名 政進会

経理責任者 大塚真樹

1 収 入

政務活動費 1,728,000 円

2 支 出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
研究研修費		
調査旅費	733,385	✓
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
事務費	739	✓
その他の経費		
合 計	734,124	✓

3 残 額 993,876 円 ✓

（注）1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2 関係書類として、領収書等の証拠書類を添付する。

収入・支出伝票(兼領収書)

令和7年12月24日

会派名	政進会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	調査旅費(会派視察)					
摘 要 (何を)		数 量	単 価	金 額		
宿泊交通費(宿泊あり)		3	35,480 ✓	106,440 ✓		
交通費(宿泊なし)		1	20,480 ✓	20,480 ✓		
交通費(宿泊あり実費)		3	3,118 ✓	9,354 ✓		
交通費(宿泊なし実費)		1	2,498 ✓	2,498 ✓		
合 計				138,772 ✓		
用 途	(何のために) 2025/11/26~27 新潟県新発田市: 災害協定を締結している新発田市の災害対策について 新潟県新潟市: アルビレックス新潟の運営と地域共存の取り組みについて					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄(添付しきれない場合は裏面へ)

視察テーマ:災害協定を締結している新発田市の災害対策について

視察地 新潟県新発田市

日時 令和7年11月26日(水)

参加議員:宇田川希、倉橋正美、森下賢人、大塚真樹

新発田市の防災体制で特に印象的であったのは、消防団と自主防災組織を中核とした「地域力」による防災の仕組みである。同市の消防団は定員を下回っているとはいえ約1,100人が在籍しており、広大な市域と山間部を抱える中で、可搬ポンプを担いで山火事対応にあたるなど、地域に根ざした機動力の高い活動を続けている。人口規模を踏まえると非常に多い団員数であり、平時からの訓練・パトロールを通じて、災害時の「目」と「足」として重要な役割を担っていることが分かった。

また、約330ある自治会のうち自主防災組織の組織率は約93%に達し、その代表者で構成される「新発田市防災協会」が、研修・講座・総合防災訓練等を通じて各地区の防災リーダー育成を図っている点も先進的である。指定避難所52か所のうち35か所では、地域住民と行政が連携した「避難所運営委員会」が設置されており、鍵開けから受付・名簿管理、運営に至るまで、住民自らが主体的に関わる体制が整備されている。

これらの取組は、行政職員だけではカバーしきれない災害対応を「顔の見える関係」の中で補完し合うものであり、海老名市においても、消防団員の確保・活動の見える化と併せ、自主防災組織や避難所運営委員会の機能強化に取り組む必要性を再認識した。

今回の視察を踏まえると、海老名市が今後強化すべきは「地域主体の防災体制の底上げ」である。特に自治会加入率の低下が進む中で、新発田市のように自主防災組織のリーダー層を束ねる中間組織(＝防災協会)の創設は有効であり、各地区での知見共有や訓練体系の標準化につながる。また、消防団についても、若年層の確保と役割の明確化、訓練・活動内容の市民への発信など、“地域に必要とされる消防団像”を再整理する必要があると感じた。

さらに、避難所運営に関しては、海老名市でも一部地域で導入が進むものの、住民と行政の協働体制を標準仕様として位置付けることが重要である。特に高齢世帯が増える地域では、災害初動の速さが生命線となるため、「地域主導の避難所運営体制」を早期に整備すべきである。

新発田市の取り組みは、地域力の結集が防災の質を左右することを改めて示すものであり、海老名市においても、行政・地域・消防が三位一体となった防災体制構築に着実に取り組むことが求められる。

視察テーマ・アルビレックス新潟の運営と地域共存の取り組みについて

視察地 新潟県新潟市

日時 令和7年11月27日(木)

参加議員:倉橋正美、森下賢人、大塚真樹

今回の視察では、デンカビッグスワンスタジアムにおける防災・危機管理体制と、アルビレックス新潟が地域防災力向上に寄与している点について貴重な示唆を得た。スタジアムは3万人規模の大規模集客施設であるにもかかわらず、災害時には新潟市民の避難場所としても機能し、平時・有事の双方で地域インフラとしての役割を果たしている。

建物自体は大規模地震にも耐えうる構造とされ、阪神淡路大震災級の揺れにも耐えとされている。これを基盤として、地震・火災・停電を想定した避難訓練を年2回実施し、非常電源への切替訓練も実働により行われていた。訓練結果を踏まえたマニュアル改善のサイクルが確立されている点は実践的であり、非常時におけるスタッフの対応力向上につながっている。

また、試合開催時には最大3万人が滞留するため、入退場動線やゲート処理能力などのデータを活用し、災害発生時の避難完了時間を推計する仕組みが整えられている。通常の試合後は30～40分で観客が概ね退場する実績があり、これらの数値が避難計画の根拠となっていた。警察・消防との連携体制も明確で、気象急変時の判断基準や場内アナウンス、誘導手順なども細かく整理されていた。

以上の取り組みは、スポーツ施設が地域防災拠点として果たすべき役割を具体的に示すものであり、海老名市にとっても大きな参考となる。とりわけ、ららぽーと周辺や海老名運動公園など、一定規模の集客が発生する施設においては、平時から避難動線の可視化や混雑時の人流データの収集が重要と考える。また、市内の大型イベントやスポーツ大会でも、主催者・市・消防が連携し、避難計画を共有する仕組みを導入することが望ましい。

さらに、ビッグスワンのように「平時はスポーツ・有事は防災拠点」として機能させる考え方は、海老名市総合体育館や運動公園の活用拡大にも応用可能である。特に停電対策として、非常用電源や蓄電システムの整備を段階的に進めることは、防災力向上に直結する施策であると考えられる。

◎ 視察都市、視察事項

- ・新潟県新発田市 災害協定を締結している新発田市の災害対策について
- ・新潟県新潟市 アルビレックス新潟の運営と地域共存の取り組みについて

集合時間 午前7時15分 (小田急線海老名駅)

令和7年11月26日(水)					
時間		場 所	摘 要	金額	支払い
7:22	発	海老名	小田急小田原線快速急行(新宿行)	513	✓ 実費
8:16	着	新宿			
8:39	発	新宿	JR湘南新宿ライン(小金井行)	483	✓ 実費
9:09	着	大宮			
9:34	発	大宮	上越新幹線とき(313号)	10,350	代理店
11:29	着	新潟			
11:44	発	新潟	JR白新線(村上行)		
12:21	着	新発田			
12:30	昼食	新発田市			
13:15					
13:30	視察	新発田市役所	〒957-8686 新潟県新発田市中央町3丁目3-3		
15:00					
15:49	発	新発田	JR白新線(長岡行)	506	✓ 実費
16:22	着	新潟			
	泊	宿泊先	サンルートホテル新潟	15,000	代理店
				26,852	

宇田川議員(翌日監査のため)

7:22	発	海老名	小田急小田原線快速急行(新宿行)	513	✓ 実費
8:16	着	新宿			
8:39	発	新宿	JR湘南新宿ライン(小金井行)	483	✓ 実費
9:09	着	大宮			
9:34	発	大宮	上越新幹線とき(313号)	10,350	代理店
11:29	着	新潟			
11:44	発	新潟	JR白新線(村上行)		
12:21	着	新発田			
12:30	昼食	新発田市			
13:15					
13:30	視察	新発田市役所	〒957-8686 新潟県新発田市中央町3丁目3-3		
15:00					
15:49	発	新発田	JR白新線(長岡行)	506	✓ 実費
16:22	着	新潟			
20:30	発	新潟	上越新幹線(とき344号)	10,130	代理店
22:03	着	大宮			
22:26	発	大宮	JR湘南新宿ライン(国府津行)	483	✓ 実費
22:57	着	新宿			
23:10	発	新宿	小田急小田原線快速急行	513	✓ 実費
23:59	着	海老名			

22,978

令和7年11月27日(木)					
時間		場 所	摘 要	金額	支払い
11:00	集合	ホテルロビー			
11:10					
12:00	昼食	新潟市			
12:13	発	新潟	新潟交通(S70系統)	310	✓ 実費
12:27	着	ビックスワン前			
12:29	発	ビックスワン前	徒歩		
12:33	着	デンカビックスワンスタジアム			
13:00	視察	デンカビックスワンスタジアム	〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎67-12		
14:30					
14:38	発	デンカビックスワンスタジアム	徒歩		
14:42	着	ビックスワン前			
14:44	発	ビックスワン前	新潟交通(S70系統)	310	✓ 実費
15:01	着	新潟			
15:17	発	新潟	上越新幹線(とき326号)	10,130	代理店
16:35	着	大宮			
16:47	発	大宮	JR湘南新宿ライン(逗子行)	483	✓ 実費
17:18	着	新宿			
17:41	発	新宿	小田急小田原線快速急行	513	✓ 実費
18:27	着	海老名			

11,746

宿泊あり(3名) 115,794 ①
1名あたり 38,598
宿泊なし(1名) 22,978 ②
①+② 合計 138,772 ③

旅行代理店支払い 126,920 ④
③-④ 実費 11,852

収入・支出伝票(兼領収書)

令和8年2月24日

会派名	政進会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	調査旅費(会派視察)					
摘要(何を)		数量	単価	金額		
宿泊		10	11,800	118,000		
航空券		5	80,525	402,625		
レンタカー		1	31,350	31,350		
交通費(実費)		5	1,442	7,210		
高速代		2	410	820		
視察代		5	5,000	25,000		
ガソリン代		1	2,288	2,288		
宿泊駐車場		2	1,500	3,000		
お土産代		1	4,320	4,320		
			合計	594,613		
用途	(何のために) 2026/2/4~2/6 沖縄県那覇市:歴史的文化財の再建に向けての取り組み 沖縄県うるま市:地域防災について(自主防災について) 沖縄県糸満市:市民提案型まちづくり事業について					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄(添付しきれない場合は裏面へ)

会派行政視察報告書

2026/02/20

会派名	政進会
参加者	宇田川希/倉橋正美/森下賢人/大塚真樹/森英之
視察期間	2026.02.04 ～ 2026.02.06
視察場所	沖縄県那覇市 歴史文化財の再建にむけての取り組み(首里城) 沖縄県うるま市 地域防災について(自主防災組織) 沖縄県糸満市 市民提案型まちづくり事業について
視察目的	本視察の目的は、各地方自治体が実施する先進的かつ実践的な政策事例を通じ、防災力の強化、歴史文化財の保全・活用、および住民主体のまちづくり推進に寄与する取組の有効性を検証することにあります。具体的には、沖縄県那覇市における首里城正殿の復元事業を視察し、2019年の火災からの再建過程における「見せる復興」の理念や、伝統技術の継承、復興基金を活用した官民連携の手法を学び、海老名市における歴史文化財の保全・活用施策への示唆を得ることを狙いとしています。また、沖縄県うるま市における地域防災・自主防災組織の育成策を視察し、行政区全住民を対象とした自主防災体制の構築手法や、防災士の育成、消防団との連携、住民参加型の防災訓練の実践例を把握することにより、海老名市における地域防災力の向上を図ります。さらに、沖縄県糸満市の市民提案型まちづくり事業を検証し、市民活動支援センター「まちテラス」を拠点とした市民・学生の自発的な地域課題解決の仕組みや、行政との共同事業型の取組を模索するとともに、海老名市における市民協働のまちづくり推進に反映させるための具体的な知見を獲得することを目的としています。
報告事項	沖縄県那覇市：歴史文化財の再建にむけての取り組み(首里城) 沖縄県那覇市の首里城は、琉球王国時代の政治・外交・文化の中心であった王城であり、2000年に世界遺産に登録された首里城跡に位置する。2019年10月31日の火災により正殿を含む主要7棟が焼失したが、国は2022年11月に正殿本体の復元工事に着工し、2026年秋の完成を目指して再建が進められている。今回の視察では、復元工事の進捗状況を現地で確認した。視察時点(2026年2月)では正殿の外観が既に完成しており、2025年10月に素屋根が撤去されたことで正殿の威容が約6年ぶりに姿を現していた。現在は内装工事(漆塗り・防火設備の整備等)が進行中である。特筆すべきは「見せる復興」の理念であり、復元工事の過程そのものを一般公開することで、県内外からの関心と支援を継続的に喚起している。復興基金には国内外から多額の寄付が寄せられ、正殿の赤瓦にはボランティアが焼失瓦を砕いた「シャモット」も使用されるなど、県民参加型の復興が実現されている。また、大龍柱や鬼瓦などの伝統的装飾品の復元においては、琉球王国時代の伝統技法を若手職人に継承する取組が行われており、文化財再建と技術継承を両立させている点が印象的であった。海老名市においても、歴史的資源の保全・活用にあたっては、市民参加型の取組や「見える化」による関心喚起の手法が参考になるとともに、災害に備えた文化財の防火対策の重要性を改めて認識する機会となった。

報告事項

沖縄県うるま市：地域防災について(自主防災組織)

うるま市は沖縄本島中部の東海岸に位置し、面積87平方キロメートル、人口約12万7千人の自治体である。東西に長い地形で端から端まで車で約50分を要するため、大規模災害時に行政の支援が行き届くまでの間、地域の自主防災組織の役割が極めて重要とされている。市内63自治会のうち62に自主防災組織が設置されており、市は活動支援補助金(上限8万円)、資材購入補助金(上限20万円)、立ち上げ支援補助金(上限200万円)の3種の補助制度で支援を行っている。防災士の育成では、各自主防災組織から2名ずつの推薦を受け、1人当たり45,000円の補助を交付しており、令和8年2月1日時点で市内に111名の防災士が活動している(目標122名)。特に注目すべきは、自主防災組織の対象を自治会加入者に限定せず「行政区の全住民を対象」とする考え方を令和4年から指導・浸透させている点である。これにより、自治会加入率の低下にかかわらず、地域防災の網羅性を確保する仕組みが構築されている。一方で、低地帯と高台の地域間で防災意識にばらつきがあるという課題があり、県外視察研修への同行参加や、低地帯から高台への避難を想定した地域間連携訓練によって意識の底上げを図っている。また、住民参加を促すため、キッチンカーを活用した体験型防災訓練やスタンプラリー形式のイベントを実施し、真面目な防災訓練では20名程度の参加が、体験型では50～100名規模に増加するなどの実績を上げている。消防団との連携では、補助金の講師料から1人5,000円で消防団員を派遣し、AED指導や炊き出し訓練の講師として活用することで、地域住民と消防団の顔の見える関係づくりにも寄与している。デジタルツールの導入については現時点で実績・計画はないとのことであった。海老名市においても自治会加入率の低下が課題であるが、うるま市の「全住民対象」の考え方や、体験型イベントによる住民参加の促進手法、消防団の地域防災への活用策は大いに参考となる。特に、自主防災組織を自治会とは別の枠組みで捉える発想は、海老名市の地域防災力向上に向けた新たな視点として提案していきたい。

沖縄県糸満市：市民提案型まちづくり事業について

糸満市は沖縄本島最南端に位置する自治体であり、第五次総合計画において「つながりを深めチャレンジする街 糸満市」を将来像に掲げ、市民協働のまちづくりを推進している。その中核を担うのが市民活動支援センター「まちテラス」であり、NPOや公益的活動を行う個人・団体の支援を通じて、地域課題の可視化とプロジェクト創出を担っている。市民提案型まちづくり事業は、自由提案型(スタートアップ: 上限10万円、ステップアップ: 上限20万円)、共同事業型(行政の課題と連携: 上限10万円)、学生提案型(上限10万円)の4区分で構成されている。審査は外部有識者を含む5名以上の審査委員会で行われ、公益性・先進性・波及効果・実現継続性・団体の適正性の5項目で評価される。令和7年度の学生提案型では、小中学生まで対象を拡大したことで、中学生による糸満大綱引きの魅力発信事業や、地域の音楽隊結成プロジェクトなど2団体が採択され、世代を超えた地域交流が実現している。共同事業型では、行政の各課が感じている課題を平職員レベルでヒアリングし、市民団体との協働事業として提案に結びつける手法が特徴的であった。例えば、児童館のトイレ落書き問題を、ミューラルアート事業として「やんちゃな子どもたち」と地域住民が協働で壁画制作に取り組み、青少年健全育成と地域の治安改善を同時に実現するという成果を上げている。また、まちテラスはSNS(Instagram: 約1,400フォロワー)での情報発信に注力するとともに、沖縄県内の中間支援組織が集まる「沖縄市民活動支援会議」(2ヶ月に1回)や、市内各施設との「糸満市イベント情報連絡協議会」(月1回)を通じた広域的なネットワーク構築にも取り組んでいる。課題として、補助期間(最大2年)終了後の団体の自立継続が難しいケースが多いことが挙げられ、組織基盤の強化や事業運営の自走化に向けた伴走支援の充実が今後の検討事項とされていた。海老名市においても「にぎわい振興事業補助金」等の類似制度があるが、糸満市のような市民活動支援の中間支援組織の設置や、行政課題と市民活動を結びつける共同事業型の仕組み、学生の参画促進策は、市民協働のまちづくりを一層推進する上で参考となる。特に、行政職員が平場で課題を出し合い、市民提案に結びつけるボトムアップ型の手法は、海老名市の行政運営においても導入を検討すべき有益な事例である。

◎ 視察都市、視察事項

- ・沖縄県那覇市 : 歴史的文化財の再建に向けての取り組み
- ・沖縄県うるま市 : 地域防災について(自主防災について)
- ・沖縄県糸満市 : 市民提案型まちづくり事業について

集合時間 午前5時15分 (小田急線海老名駅)

令和8年2月4日(水)						
時間		場 所	摘 要	支払	1人	5名
5:33	発	海老名	相鉄本線快速	個	324	1,620
6:11	着	横浜	横浜行			
6:22	発	横浜	京急本線特急	個	397	1,985
6:47	着	羽田空港第1・第2ターミナル(京急)	羽田空港第1・第2ターミナル行			
7:45	発	東京(羽田)	ANA 463便	旅	24,590	122,950
10:45	着	沖縄(那覇)				
10:45		レンタカー会社				
11:30						
11:30	発	レンタカー会社	レンタカー			
11:45	着	昼食会場				
11:45	昼食					
12:30						
12:30	発	昼食会場	レンタカー			
12:50	着	首里城管理センター				
13:00	視察	首里城管理センター	沖縄県那覇市首里金城町1丁目2			
14:30			TEL:098-886-2020			
15:00	発	首里城管理センター	レンタカー			
15:30	着	ホテル				
	泊	GRGホテル那覇(連泊)	那覇市松山2丁目16-10 TEL:098-868-6100	旅	11,800	59,000

令和8年2月5日(木)						
時間		場 所	摘 要			
8:30	集合	ホテルロビー				
8:40	発	ホテル	レンタカー		410	410
9:50	着	うるま市役所				
10:00	視察	うるま市役所	沖縄県うるま市みどり町1丁目1-1			
12:00			TEL:098-974-3111			
12:00	発	うるま市役所	レンタカー			
12:30	着	昼食会場				
12:30	昼食					
13:30						
13:30	発	昼食会場	レンタカー			
14:00	着	具志川火力発電所				
14:00	視察	具志川火力発電所	沖縄県うるま市字宇堅657番地			
16:00			TEL:080-8959-3220			
16:00	発	具志川火力発電所			410	410
17:00	着	ホテル				
	泊	GRGホテル那覇(連泊)	那覇市松山2丁目16-10 TEL:098-868-6100	旅	11,800	59,000

令和8年2月6日(金)						
時間		場 所	摘 要			
8:30	集合	ホテルロビー				
8:40	発	ホテル	レンタカー			
9:20	着	糸満市役所				
9:30	視察	糸満市役所	沖縄県糸満市潮崎町1丁目1		5,000	25,000
11:30			TEL:098-840-8111			
11:40	発	糸満市役所	レンタカー			
12:10	着	昼食会場				
12:00	昼食					
13:00						
13:00	発	昼食会場	レンタカー			
14:30	着	那覇空港				
16:50	発	沖縄(那覇)	ANA 472便	旅	55,935	279,675
19:05	着	東京(羽田)				
19:38	発	羽田空港第1・第2ターミナル(京急)	京急空港線急行	個	397	1,985
20:13	着	横浜				
20:24	発	横浜	相鉄本線快速	個	324	1,620
20:51	着	海老名				

航空券 402,625
 宿泊 118,000
 レンタカー 31,350
 交通費(実費負担分:電車・高速代) 8,030
 視察費(糸満市一人5,000円) 25,000
 ガソリン代 2,288
 お土産代 4,320
 宿泊駐車場代 3,000

領 収 証

No. _____

海老名市議会政進会 様

金 額

¥ 31,350 -

但

令和8年 1 月 30 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

1:7カ代表の保護代として

Freellance
Travel concierge
代表 馬場 大輔

091518

受領書番号 2026-3

令和8年2月6日

受 領 書

海老名市議会政進会 様

宇田川 議員

金 5,000 円也

但し、

令和8年2月6日 の行政視察に係る受入れ経費として
上記金額を受領いたしました。

糸満市議会事務局
局長 伊集 親洋



令和8年2月6日

受 領 書

海老名市議会政進会 様

倉崎 議員

金 5,000 円也

但し、

令和8年2月6日 の行政視察に係る受入れ経費として
上記金額を受領いたしました。

糸満市議会事務局
局長 伊集 親洋



令和8年2月6日

受 領 書

海老名市議会政進会 様

森下 議員

金 5,000 円也

但し、

令和8年2月6日 の行政視察に係る受入れ経費として
上記金額を受領いたしました。

糸満市議会事務局
局長 伊集 親洋



受 領 書

海老名市議会政進会 様

大塚 議員

金 5,000 円也

但し、

令和8年2月6日 の行政視察に係る受入れ経費として
上記金額を受領いたしました。

糸満市議会事務局
局長 伊集 親洋



受 領 書

海老名市議会政進会 様

森 議員

金 5,000 円也

但し、

令和8年2月6日 の行政視察に係る受入れ経費として
上記金額を受領いたしました。

糸満市議会事務局
局長 伊集 親洋



株式会社 政通会様

領収証

2026年 2月 4日(水)

¥4,320-

上記正に領収しました(消費税等

¥320-を含みます)

クレジット(消費税等

¥4,320-
¥320-を含みます)

店舗：東京 食育館B
店舗コード：5106
電話番号：03-6428-8716
東京都大田区羽田空港3-3-2
※保管上のお願
財布等で保管載く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

御菓子代々



(株)センターサービスステーション
田原SS
那覇市田原3-12-5
TEL:098-852-1550
登録番号：T9360001009707

2026/02/06(金)13:33 2026/02/06

政通会

様

0-13003-00009-300501-0000
売上 現金フリー

5607 003000	外
軽油	¥2125
15.29L, ①139 L- 3 N- 7	
(内軽油本体 ①106.9	¥1634)
(内軽油税 ①32.1	¥491)
小計	¥1,634
外税分消費税	¥163
(外税10%対象	¥1634)
(外税10%消費税	¥163)

合計 ¥2,288

取引日時 2026/02/06 13:33
取引コード 130031/012602061332
楽天ポイントカード XXXXXXXXXX1411 M
獲得ポイント 15P
(基本ポイント 15P)
利用可能ポイント 20001P

※上記にて領収書とさせていただきます

楽天ポイントカードのキャンペーン
情報をアプリで配信中
期間限定ポイントなど貯まったポイ
ントも街のお買い物に使えて便利

獲得ポイントの残高への反映は、
通常4日目以降に反映されます。
タバコ・税金など、ポイントが付与
されない商品があります

お得!ガソリン、ディーゼル
2,000円以上で
お水5割サービス

担当者
98700104
0568-9739-1128

2026年 2月 4日(水) 6:12 No:0568

1001PTラック*ショコラ*リ20(NEW)
単2,000× 2個 軽 ¥4,000

S-TOTAL	
小計	¥4,000
TAX EXCLUSIVE OBJECT	
外税対象額(軽)	8.00% ¥4,000
TAX EXCLUSIVE	
外税額(軽)	8.00% ¥320
TOTAL	
合計	¥4,320
(内消費税等 TAX	¥320)



a0568112700004320a

No. 0061145

請求明細書

B I L L

〒900-0032 沖縄県那覇市松山2-16-10
GRGホテル那覇
TEL 098-868-6100 FAX 098-868-6122

客室番号 ROOM No.	609	泊数 NTS	2	ご到着日 AR. DATE	26/02/04	ご出発日 DP. DATE	26/02/06
お名前 NAME	政進会						様

日付 DATE	客室番号 ROOM No.	摘要 EXPLANATION	数量 Q'TY	料金 CHARGES
26/02/04	609	駐車場	1	1,500
		現金		(3,000)
26/02/05	609	駐車場	1	1,500
		—御利用額—		3,000
		—現金支払額—		(3,000)
		[消費税内訳] 内税10%対象 (3,000円)		(273)
前受金	宿泊料金	その他入金		御請求金額
	3,000	3,000		

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

No. 0061145

領 収 証

沖縄GRGホテルズ 株式会社
登録番号: T7360001002688

R E C E I P T

お名前 NAME	政進会	様
領収金額	¥3,000 (税込)	

収入

印紙

但 駐車料金として

2026年2月4日 上記正に領収いたしました

税率	課税対象額(円)	内消費税額
10	3,000	273

〒900-0032 沖縄県那覇市松山2-16-10
TEL 098-868-6100 FAX 098-868-6122

GRG Hotel Naha

GRGホテル那覇

係印



収入・支出伝票(兼領収書)

令和8年10月29日

会派名	政進会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	事務費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
コピー代					589	
合計				589		
用途	(何のために) 事務局コピー機使用代					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。

納入通知書兼領収書

〒
住所 海老名市勝瀬 175-1
政進会
様

金額	589 円
延滞金	円
合計	589 円
納期限	令和 7 年 10 月 31 日
摘要	ゼロックス使用料 4月分から9月分

令和 7年度 所属 910100 議会事務局
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 13 私用複写機利用料

令和 7 年 10 月 17 日

海老名市長



口座番号	
加入者名	

神奈川県
海老名市

領収日付印

(収入印紙不要)
(納付者保管)

収入・支出伝票(兼領収書)

令和8年3月13日

会派名	政進会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	事務費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
コピー代					150	
合計				150		
用途	(何のために) 事務局コピー機使用代					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。

納入通知書兼領収書

〒
住所 海老名市勝瀬 1 7 5 - 1

政進会

様

令和 7年度 所属 910100 議会事務局
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 13 私用複写機利用料

金額	150 円
延滞金	円
合計	150 円
納期限	令和 8 年 3 月 31 日
摘要	ゼロックス使用料 10月分から3月分

口座番号	
加入者名	

領収日付印



(収大印紙不要)

(納付者保管)

令和 8 年 3 月 12 日

海老名市長



神奈川県
海老名市